

静岡市長 田辺信宏 様

台風 18 号による災害への対応についての申し入れ

2014 年 10 月 10 日 日本共産党静岡市議団

台風 18 号がもたらした大きな災害への昼夜を分かたぬ対応にたいして敬意を表します。党市議団も当日から被災地を回り、被害を受けた市民から切実な声を聞いてきました。主な点にまとめましたので以下申し入れます。

記

- 一、 罹災証明書の申請について被災者に周知すること
- 一、 相談窓口を設置しワンストップで対応し、市民に周知すること
- 一、 被災者が市税・保険料等の減免を受けやすいように改善すること
 - ① 市民税・固定資産税、国保料、介護保険料などの災害での減免要件は厳しい規定となっており、被害額等に応じた減免をもちこむなど被害の実態に対応するようにすること
 - ② 災害による減免制度を広く広報し、市民に周知すること
- 一、 上下水道料金・くみ取り料についても災害による減免をもうけること
- 一、 事業に必要な車・機械などの買い替えや修理が必要な場合、その費用について、災害対応の無担保・無保証・長期返済の融資制度をつくること
- 一、 私立の福祉施設において調理室等の消毒の経費は公費負担とすること
- 一、 豪雨によって防災無線が聞こえない市民が多数いたことから、市民に行き届くシステムを構築すること
 - ① 清水区において自治会管理の防災無線への市の防災無線の接続ができるようにすること。
 - ② 防災ラジオを安価で普及できるようにするなど災害弱者に防災・災害情報が届くようにきめ細かな対応をすること

以上